

議員定数に関する特別委員会記録

令和7年 4月 4日（金）

6階 第1委員会室

出席委員（8名）

子 籠 敏 人議員

国 松 まさき議員

たばた あずみ議員

中 村 一 広議員

増 崎 俊 宏議員

しょうじさとし議員

辻 よし子議員

中 村のりひと議員

議 長

臼 井 建議員

議会事務局出席職員

議会事務局長 大久保 学君 議会事務局次長 吉 崎 淳 二君

議事係長 野 口 咲 子君 議事係 星 野 千 愛君

○委員長（子籠敏人議員） 皆さん、こんにちは。

それでは、ただいまから議員定数に関する特別委員会を開会いたします。

本日、議長出席がしておりますので御報告します。よろしくお願いします。

ただいまの出席委員は8人全員であります。定足数に達しておりますので、ただちに本日の会議を開きます。



○委員長（子籠敏人議員） それでは、日程に従い進めさせていただきます。

協議事項、(1) 今後の進め方についてを議題といたします。

今日は初めての委員会なので、今後の進め方を御相談させていただきたいと思って開かせていただいているのですが、皆さんからも御意見があれば伺っておきたいとも思いますし、まだ最初なので、私のほうとしてもこういった進め方でまずはどうでしょうかと。みんなの思いとか考え方とかを共有するところから始めるのがいいのではないかなというふうに思っているのですが、その辺りで僕のほうの思っていることとかをお伝えしたほうが皆さんの進めやすいというか、まず伺いたいとかいうのであったらそれでもいいですし、それよりも先にこれはちょっと言っておきたいわとかがあれば伺ったりもしますけれども、どんなところでしょうか。言ったほうがいいかな。では、そうしましょうか。

ざっくばらんにお伝えすると2つあります。1つは、議員定数というものについて、そもそも皆さんとかがどういう考え方を持っているのかというところが一つ。それともう一つは、今回のこの特別委員会が設置された大きなきっかけでもある執行部のほうの特別職報酬等審議会の答申の中に書かれている附帯意見があるではないですか。附帯意見の中で定数に関しての御意見がありますよね。なので、答申の附帯意見に対してどういうふうに思っているかというこの2点について、みんなでそれぞれこういうふうに考えているということを出していただいて、共有するというところから始めるのがいいのではないかなというふうに思っています。これについては、今、私のほうで初めてお伝えもしているところであるので、今日のところとかは一度持って帰っていただいて、次回のときにそれについて、今お伝えした2点について御意見いただいてという機会にしたらどうかなというふうに思っ一応今日自分は来ました。というところで、それを聞いていただいた上で、大丈夫かな。メモは取れましたか。2点あって、1つはそもそも議員定数について皆さんどのような考えをお持ちかというところと、この前出された答申の附帯意見について、どういうふうに思いを持っているかというところについて、次回お話しいただくのがいいかなと。今日はいきなりなので、当然準備ができていないとかあると思うし、一応自分の思いもあるけれども、会派としてはこういう考え方もあるとかというふうなところまで持ってきたほうがいいのかという方もいるかもしれないので、そんなのも含めて一回今日のところは皆さんにお願いをして、次回のときにしようかなと思っています。

その上で、今日御意見とか伺っておいたほうがいいこととかがあれば伺いますし、そうでもなければ、今日のところはそうしましょうかというところにしますけれども。

辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員） 意見というよりは、質問というか、附帯意見で3つぐらいありま

すよね。定数に関するものというふうに捉えればいいですか。

○委員長（子籠敏人議員） 私としてはまずそこがもう一番だと思うので、そこでいいのではないかなと思いますけれども。

○委員（辻よし子議員） ほかのものには触れずにということですよね。要するに、定期的
に開くのがとか、そういうのもあるではないですか。そういうことではなくて、この委員
会としてはそこに絞ってというイメージですよね。

○委員長（子籠敏人議員） 議員定数の委員会としてやるから。

○委員（辻よし子議員） 了解しました。一応確認です。

○委員長（子籠敏人議員） ほかはどうでしょう。

そこでみんな少し思いとか考え方を共有しないとその先になかなか行かないとも思うし、
やっていく中でいろいろな御意見が出ると思うので、その都度、その場になったときに自
分と副委員長とかで相談させてもらいながら進め方とかはいい方向を探っていきたいと思
いますし、いろいろなことは起きるかもというのは思いながら自分も預かっていますので。

ほかはどうですか。辻委員、どうぞ。

○委員（辻よし子議員） 2つのことで次回までに意見をまとめてというのは分かりました。
いいと思います。あとは時期とかが気になっているのですけれども、その辺は意見は出さ
なくていいですか。この委員会がなかなか難しいではないですか。まとめるのも難しいし、
時期、その辺についてどう考えているのかというのは結構気になっているところなのす
けれども。

○委員長（子籠敏人議員） ほかの皆さんがどう思われているか分からないですけれども、
自分としては、進行役のほうなので、円滑に進めるということを第一に思っていますけれ
ども、ああいった御意見とか答申とかを出されている側としても、速やかにいろいろ開い
てどんなふうに考えているというのを出示してもらいたいと思っているかもしれないと思
ったりとかはしているので、いたずらにという言い方はするつもりもないですけれども、
あまりのんびりでもないのではないかなと思って、皆さんとかの御意見次第ですけれども、
自分としてはコンスタントに委員会とかも開かせてもらって、なるべく早く結論を出せる
ように努めたほうがいいのかと思ってまず任には当たろうと思っていますけれども、で
も、いろいろ調べたいとか始まると時間もそれなりにかかるかなとか思いつつ、いずれに
しても任期は1年少々しかないなので、そんないっぱいいっぱいはできないだろうと思っ
たりする面も感じたりしています。皆さんの御意見を聞こうとは思っていますけれども、
基本線としてそんなのを思ったりはしています。のんびりやるつもりはあまりないですよ
というふうな気持ちを持ってもらったほうがいいのかというふうには思ってい
ます。あとはコンスタントに委員会を開かせてもらえたらありがたいなと。答えになっ
ていればいいのですけれども。

どうぞ。

○委員（辻よし子議員） 答えというか、その辺も出し合うのかなと思ったので、2つという
話だったので、時期のことも皆さんの意見を聴いたほうがいいのかと。委員長のお考えは
よく分かりました。

○委員長（子籠敏人議員） そうしましたら、意見とかで出していただくのは全然構わない

です。

中村委員、どうぞ。

○委員（中村のりひと議員） 今のあれだと、僕なんかは来年の3月の予算ということを考えていると、今年中に結論を出してもいいんじゃないかなと。今、委員長がおっしゃったように、もちろんみんなの都合とか、事務局のもちろんそういうのもあったりするのでしょうけれども、月1回以上のペースとかでやっていけば、今年中にはいけるのではないかなとかなったりするので、それがいいんじゃないかなとは個人的には思っています。今、スケジュールの話が出たので。

○委員長（子籠敏人議員） 話を進めていけば、当然そういう話とかにもなってくるとは思うけれども、意見で出してもらって、そのような御意見もあるというのを踏まえつつ、やっていけばいいかなとは思いますが、中村委員のお考えとかは分かりました。メモを取っておきたいと思います。

たばた委員、どうぞ。

○委員（たばたあずみ議員） そんなに慌ててという話でもない。大事な話でもあるし、かといってのんびりし過ぎててもねという話ではあると思うので、気をつけたいなと思っているのが、その話がある程度煮詰まってきたときに、どうしよう、あなたはどうか考えるというときに、会派に持ち帰らないと分かりませんみたいになってしまうと、確認するためにまた1週間、2週間置かなければいけないとかになってしまうというのはすごく時間のロスだなというふうに常々感じるので、それぞれ会派の人数が多いところは複数出ていらっしゃるの、そういったところである程度意見が割れるのであれば、そこを代表してくださるとか、スムーズにこの場で話が進むように皆さん考えてくる必要があるかなというふうに思っております。私も会派のほうで意見が割れないようにしっかりまとめたいと思っていますけれども。

○委員長（子籠敏人議員） ほかはどうでしょう。大丈夫ですか。

では、そのような御意見をいただきつつ、今日のところはこのぐらいにして、次のときをお願いしたこととかについてコメントしていただくということで進めたいと思います。いいですか。

事務局的にもいいですか。

では、(1)の今後の進め方については、本日のところはそうにさせていただきたいと思います。

————— ◇ —————

○委員長（子籠敏人議員） では、(2)のその他になりますが、皆さんから何かありますか。大丈夫ですか。

————— ◇ —————

○委員長（子籠敏人議員） (2)のその他を終えて、3のその他になります。皆さんから何かありますか。

（「なし」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員） なければ、私のほうからとしては、次回の日程を決めましょう。今、手帳とかをお持ちでしたら出していただいて、手帳を持ってくる必要があるのでした

ら暫時休憩します。

午前11時11分 休憩

_____ ◇ _____

午前11時16分 再開

○委員長（子籠敏人議員） 再開します。

それでは、次回の議員定数に関する特別委員会の日程については、協議の結果、4月22日火曜日の午前9時30分から開催することといたしたいと思います。皆さん、よろしいですか。

（「はい」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員） では、そのようにしましょう。

ほかに何か皆さんからありますか。

（「なし」と発言する者あり）

○委員長（子籠敏人議員） 事務局からは何かありますか。

○議会事務局次長（吉崎淳二君） 大丈夫です。

○委員長（子籠敏人議員） では、ほかにないようなので、その後も終えて、以上をもちまして本日の議員定数に関する特別委員会を閉会といたします。

御協力ありがとうございました。

これからよろしくお願いします。

午前11時17分 閉会

_____ ◇ _____

あきる野市議会委員会条例第29条の規定により、ここに署名する。

委員長 子 籠 敏 人